

## 御聖体の神秘を悟れるでしょうか

木陰 実神父

去る六月の二日は、キリストの聖体の祭日でした。その日には、全世界の教会で初聖体式に与り、励ましを受けた大勢の信徒の子供達がおられたことでしょう。

その子供達の一番強い気持ちが「イエス様は、一番」という聖歌の言葉通り一生感じ続けられるならば素晴らしいことです。

九十才の老人になった私は、このお恵みを頂いて神に感謝しておりますが、この頃、イエスが一体どんな目的を持って最後の晩餐の中でパンを手にして

「これを取って食べなさい。

これはあなた方のために渡されるわたしの体である・・・云々。

これをわたしの記念として行いなさい。」

と弟子達に命じられたのかという謎にぶつかっています。

イエスは、復活したことを明らかにした後、御父のみもとに行かれ、御父と共に聖霊をこの世に御遣わしになりました。

しかし、当分の間は見える姿でこの世にお帰りになれないようです。

顔と顔とを合わせて、ついにはイエスにお会いしたいと望む私たちですが、この世にある限りは御聖体を通してイエス様との出会いが出来るように定められているのでしょう。

しかし、復活したイエスに直接お会いした人は数百人ばかりおられたでしょうが、だれも父の右に座しておられるイエスを見た人はおられないでしょう。

ところが、父の右に座しておられるイエスにお会いするここそが人間の究極の状態であるべきです。

では、その様になる日まで、御聖体は、特にキリストを信じる私たちの信仰、希望、愛を強く支え、育んでくれるお恵みとして、イエスはお定めになったのでしょう。

私たち大人も、初聖体を受けたばかりの子供達も、それを深く理解し、力強く信仰の道を進んで行くことを期待してやみません。